林野火災予防の取り組み

「林野火災警報」と「林野火災注意報」の運用を開始しています

令和７年２月に岩手県大船渡市で発生した大規模な林野火災を受け、林野火災予防の実効性を高めることを目的とした火災予防条例の改正を行い、令和８年１月１日より運用を開始しています。発令状況は、ホームページで確認できます。

ホームページ

林野火災警報

【発令基準】林野火災注意報の発令時に、強風注意報が発令された場合で、市長が必要と認めた場合

【対象期間・区域】林野火災注意報と同じ

林野火災警報発令時、対象区域内においては火の使用が制限されます。

林野火災注意報

【発令基準】乾燥注意報が発令されており、前３日間の合計降水量が1ミリメートル以下かつ前30日間の合計降水量が30ミリメートル以下の場合で、市長が必要と認めた場合

【対象期間】毎年１月～５月まで

【対象区域】芦屋市森林整備計画に定める森林（芦屋市森林整備計画）

林野火災注意報では、火の使用を極力控えてください。

林野火災予防警戒調査

消防職員が山林を巡回し、林野火災が発生した際の進入ルートや、有効な水利を把握するために、林野調査を実施しました。



啓発活動・予防広報

ポスター掲示やチラシ配布・イベント等を通じて、林野火災予防の大切さを呼びかけています。





林野火災予防を呼び掛けるチラシの入ったティッシュを登山客に配り広報活動を行っています。

林野火災防ぎょ訓練

火災の延焼を防ぐための防火帯整備や消火訓練を定期的に実施しています。









芦屋市内の芦有ゲート付近で発生した林野火災を想定し、「林野火災防ぎょ訓練」を実施しました。

芦屋市消防本部【公式】Instagram(インスタグラム)

消防業務・訓練風景のほか普段は見られない消防の裏側やイベント情報をお届けしています。

@ASHIYA_FIRE_DEPT

クイズで深めよう！ 林野火災予防

1 日本で林野火災がもっとも多く発生する時期はいつですか？

A 10月～11月にかけての秋
B ２月～５月にかけての春先
C ７月～８月にかけての真夏
D １月の冬の盛り

2 林野火災の原因として、もっとも多いものは何ですか？

A 落雷などの自然現象
B ガラス瓶のレンズ効果
C たばこの投げ捨て
D たき火



3 林野火災を防ぐため、特に火の使用を控えるべき気象条件は？

A 日差しが弱く、どんよりした曇りの日
B 気温が低く、雪が積もっている日
C 湿度が高く、霧が出ている日
D 空気が乾燥し、強い風が吹いている日

4 農作業などで「火入れ（枯れ草焼き）」を行う際の決まりとして、正しいものはどれですか？

A 火をつけたら、あとは自然に消えるまで放置する
B 許可なく誰にも言わずにこっそり行う
C 必ず複数人で、火から目を離さずに行う
D 風が強い日を選んで一気に燃やす



5 山で火を使ったあとに、「完全に火が消えた」ことを確認する方法としてもっとも適切なものはどれですか？

A うちわで扇いで、新しい煙が出ないか試す
B 上から砂をかけて、そのままにする
C 水を十分にかけて、煙が出ていないこと・温度が下がったことを確認する
D 火が見えなくなったので、すぐにその場を離れる

クイズの答え：①-B　②-D　③-D　④-C　⑤-C